



お子さんが書いた似顔絵

入学時年齢 3 3 歳 松前町出身 (令和 2 年度入学生)



➤ 入学の動機

私は、小学生の子ども2人を持つシングルマザーです。もともと地元の病院で、看護助手として働いていました。今まで看護師という仕事は「自分にはできない」「人と関わるのが苦手だし」「大変そう」というイメージを持っていました。しかし、看護師と一緒に働くなかで「とてもやりがいのある仕事」「看護師になったらお給料も安定する」と感じたり、患者さんが元気になって帰られる姿を見て「看護師ってすごいな」と思うようになりました。

それから、看護師になるにはどうすれば良いのかたくさん調べ、専門学校か大学で看護の勉強をし、国家試験に合格すれば看護師免許を取得できるということがわかりました。はじめは函館の学校に行くことも考えましたが、子どもがいるため実習中が困ると思い、江差高等看護学院について調べました。江差なら自宅から通うことができる、そして何より授業料がとても安い。ここなら勉強と子育ての両立ができるのではないかと思い、入学を決めました。

➤ 学業と家庭の両立について

私の場合、子どもが小学校高学年だったため子どもたちも協力的で、テスト勉強の時には「頑張っってね」と励ましてくれとても心強かったです。実習の時は約2週間、家を空けなければならないため、両親に子どもたちの面倒をお願いしました。子どもたちの授業参観に行けないことや、実習と重なり運動会を見に行くことができなかつたことがとても辛く、子どもたちに申し訳ないなと感じたこともありましたが、子どもたちと両親の理解と協力のおかげで学生生活を乗り越えることができました。

➤ 学院生活について

クラスメイトはみんな現役生で若い子ばかりでしたが、実習中は年齢関係なく意見を言い合い、協力しながら実習を乗り越えました。

国家試験の勉強は、家で1人だけでやると眠くなったり集中力が途切れてしまうため、学院のゼミ室や図書室で勉強したり、友だちと電話をしながら勉強しました。学院の先生方は国試対策に向けたたくさんサポートしてくれたのでなんとか頑張ることができました。

➤ 受けている経済支援

もともと働いていた病院で奨学金を借りられたので困ることはありませんでした。卒業後の現在はその病院に就職しました。借りた期間の1.5倍(3年×1.5=4.5年)働くことで返還が免除されます。

就職先が決まっていたので、3年生の時に就職活動をしなくて良かったのは、実習や学習に専念できて優位だったと思います。また、江差高等看護学院には授業料免除の制度があり、私はシングルマザーで非課税世帯だったため授業料が免除になり、その分、参考書にお金をかけることができました。

➤ 社会人入学を考えている方へ

もし、社会人の方で入学を悩んでいる方がいたら、私は入学を進めます。学院の先生方はパワハラなどの問題もあったことで、今まで以上に私たち学生に寄り添いサポートをしてくれます。

また、社会人は今までの経験があるからこそ、辛い時に乗り越える術を知っていると思います。周りが現役生ばかりだとしても、年齢関係なくみんなの目標は「絶対看護師になりたい」ということです。また、自分で壁を作らずコミュニケーションを取ることが大切です。それは、看護師として働く上でも大切なことです。

看護師として働いてもうすぐ半年が経ちます。まだまだできないことばかりですが、やっと仕事の流れもわかり、4月にできなかった採血やルート確保など、失敗することもありますができるようになってきました。そして何より患者さんが元気になって退院されるととても安心します。看護師は大変な仕事だと思いますが、とてもやりがいのある仕事だと思います。また、お給料も今までに比べやはり多いし安定しています。思い切って江差高等看護学院に入学して看護師の免許を取得して本当に良かったと思っています。